

みんなの呼吸器 Respica 別冊『呼吸療法認定士 要点整理&まるおぼえノート』

正誤表

本文記載内容に下記のとおり誤りがございました。関係者の皆様、読者の皆様にお詫びし、訂正いたします。

◆p.67 第3部 7. BE（塩基過剰）とAG（アニオンギャップ）

- 【誤】 ・BE > +2 →代謝性アシドーシス（塩基が多い状態）
・BE < -2 →代謝性アルカローシス（塩基が少ない状態）
- 【正】 ・BE > +2 →代謝性アルカローシス（塩基が多い状態）
・BE < -2 →代謝性アシドーシス（塩基が少ない状態）

◆p.106 第4部 要点振り返りチェック！

- 【誤】 ②③加温加湿器における供給能力は、アメリカ標準規格（ANSI）：絶対湿度（ 30 ）mg/L 以上、国際標準化機構（ISO）：絶対湿度（ 33 ）mg/L 以上、米国呼吸療法学会（AARC）：絶対湿度（ 33～44 ）mg/L、Yピース部温度（ 34～41 ）℃、相対湿度（ 10 ）%と規定されている。
- 【正】 ②③加温加湿器における供給能力は、アメリカ標準規格（ANSI）：絶対湿度（ 30 ）mg/L 以上、国際標準化機構（ISO）：絶対湿度（ 33 ）mg/L 以上、米国呼吸療法学会（AARC）：絶対湿度（ 33～44 ）mg/L、Yピース部温度（ 34～41 ）℃、相対湿度（ 100 ）%と規定されている。

◆p.214 第8部 要点振り返りチェック！

- 【誤】 ⑥新生児が出生する前には立ち会うメンバーで、（ブリーフィング）を行う。出生前後に確認することは、（早産かどうか）、（強い呼吸・啼泣があるか）、（筋緊張低下の有無）の3点である。
- 【正】 ⑥新生児が出生する前には立ち会うメンバーで、（ブリーフィング）を行う。出生前後に確認することは、（早産かどうか）、（弱い呼吸・啼泣があるか）、（筋緊張低下の有無）の3点である。

◆p.218 第8部 要点振り返りチェック！

- 【誤】 ④6歳のカフ付き気管チューブのサイズは（ $4 + \frac{6}{4} + 0.5 = 6.0\text{mm}$ ）である。
- 【正】 ④6歳のカフ付き気管チューブのサイズは（ $4 + \frac{6}{4} - 0.5 = 5.0\text{mm}$ ）である。

以上